



集団的自衛権の行使を限定的に認める「安全保障基本法案」をまとめた前原誠司前国家戦略担当相（左から2人目）ら民主党保守系議員114日午後、衆院第2議員会館

（酒巻俊介撮影）

安保基本法案発表 前原氏、海江田氏揺さぶり

前原誠司前国家戦略担当相ら民主党保守系議員は4日、国会内で会合を開き、集団的自衛権の行使を限定的に認める「安全保障基本法案」をまとめた。会合には長島昭久元防衛副大臣や細野豪志前幹事長ら13議員が参加した。前原氏らは議員立法で今国会に提出する方針で、日本維新の会の橋下徹共同代表との連携を視野に、野党再編や集団的自衛権行使に消極的な海江田万里代表に揺さぶりをかける。

草案は「わが国もしくは密接な関係にある国への武力攻撃で、必要最小限で他の選択肢がない」などの4要件を満たせば集団的自衛権の行使を容認する。

前原氏は「党内のとりまとめでも集団的自衛権が全てだ」と決めていない。基本法をつくるのは大事なことだ」と訴え、長島氏は記者団に「賛同してくれる他野党の国会議員にも広く呼びかけたい」と述べた。